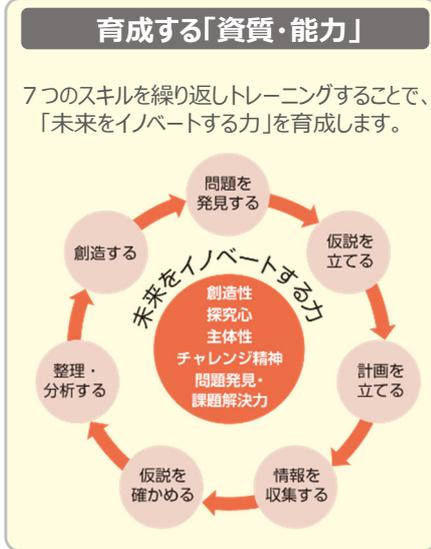
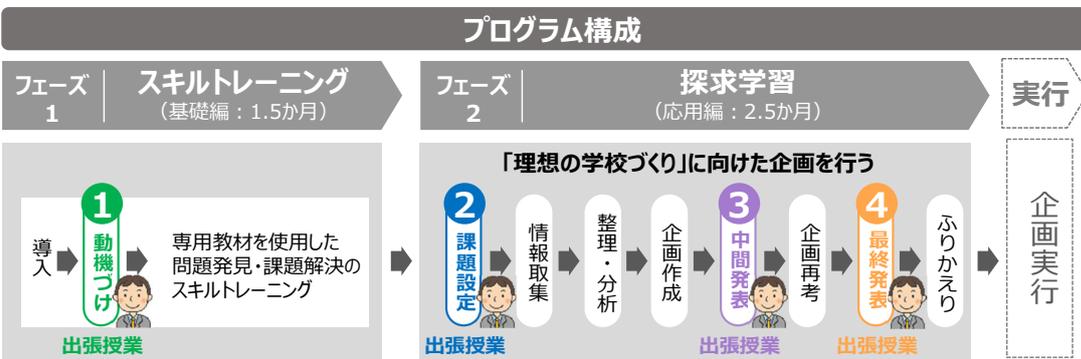


本プログラムは、これからの理工系人材に求められる「未来をイノベートする力（＝創造性、探求心、主体性、チャレンジ精神、問題発見・課題解決力）」の育成をめざして実施している、小学校5年生向けの教育プログラムです。日立グループ社員が“みらいサポーター”として参加する出張授業では、「問題発見・課題解決」の方法や日立グループの事例を伝えてアドバイスをし、“みらいイノベーター”である児童の成長をサポートします。



実施校：立川市立上砂川小学校（東京都）

対象：6年生 3クラス（107名）

出張授業 1 回目：動機づけ

45分

導入
(5分)

講師
授業
(15分)

実験
+
児童
ワーク
(20分)

まとめ
(5分)

■ 授業のねらい ■

これからプログラムに取り組む児童に対し、めざすべき目標を伝えて動機づけをする



講師授業：

日立グループの社会イノベーション事例として「駅コンシェル（多言語音声翻訳ソリューション）」を紹介し、「世界中の人々が豊かで幸せに暮らせるよう、新しいアイデアで課題を解決していく人々を“イノベーター”といい、イノベーターになるには、問題を発見して課題を解決するスキルが必要である」と説明しました。



実験＋児童ワーク：

具体的に問題発見・課題解決がどういうものであるかを理解してもらうために、「仮説を立てて確かめる」練習として、食器を使った実験をしました。事前にどの食器が水に沈むか・沈まないかを予想させて、水を張った水槽を使って確かめ、それぞれの違いをグループで考えました。

出張授業 2 回目：課題設定

45分

導入
(2分)

教師
授業
(10分)

課題
設定
(30分)

まとめ
(3分)

■ 授業のねらい ■

「理想の学校づくり」をテーマに、学校の様々な問題の中から解決すべきものを「課題」として設定する



講師授業：

課題解決を身近に感じてもらうために、講師自身の課題解決の事例を紹介しながら、「身の周りにある様々な問題に気づき、その問題の中から解決すべきものを『課題』として設定することが“みらいイノベーター”になるための第一歩である」と伝えました。



課題設定：

児童が考えてきた「学校の問題点」を付箋を使ってクラスに共有し、似た問題意識を持つ意見をグルーピングしました。その後、講師が児童の話し合いにアドバイスをしながら、それぞれのグループが取り組むべき問題を1つに決めて、課題として設定しました。

導入
(2分)

■授業のねらい■

自分たちで決めた課題を解決するためにアイデアを出して情報収集を行い、「解決策」をまとめ、講師とクラスメイトに向けて発表する

全19グループ中、
1つのグループの発表を
抜粋してご紹介します

児童
プレゼン
+
講評
(55分)

児童が考えた『理想の学校』	みんなが楽しく過ごせて、不便がない学校
課題	男子更衣室がないため、 ①男子が教室で着替えている間、女子は廊下で待たされる ②女子が教室にいると男子が着替えられず、授業に遅れる
解決策	空き教室を整理整頓し、男子更衣室として使用する
講師からのアドバイス	私（講師）が小学生の時にも同じ問題があったはずだが、「そういうものだ」と思って見過ごしてきてしまった。長年当たり前とされていることを疑い、「これは課題であり、解決したい」と思ったことがスゴイ！思考に一貫性があるので、「全校生徒の中で〇%が男子更衣室を欲しいと思っている」と客観的なデータで校長先生を初め先生方を説得できるような情報を集めてほしい。

まとめ
(3分)

出張授業 4 回目：最終発表

導入
(2分)

■授業のねらい■

中間発表の講師のアドバイスをヒントにしてさらなる情報収集や調査を行ってまとめた、改善案を発表する

中間発表でご紹介した
グループと
同じグループです

児童
プレゼン
+
講評
(55分)

前回からの改善点	① 4～6年生に「男子更衣室が必要だと思うか？」とアンケートを取り、70%から「はい」という回答を得た ② 校長先生に一度は断られるも、空き教室に置いてある備品の種類・大きさなどを調べて適切な収納方法を考え、再度提案して3学期に実行することの許可をもらった
講評	諦めないマインドも、校長先生の心を動かしたことも、素晴らしい！！3学期に行動に起こすのを待つのみ。皆さんの学校改革を、楽しみにしています。

まとめ
(3分)

講師は最後に、「皆さんがこれまで勉強してきた問題発見・課題解決のプロセスは、今までに体験したことがないことに挑む時にも応用できます。また、一人でできることには限りがあるので、ぜひ周りの人達を巻き込みながら活動してってください。皆さんの将来がとても楽しみです。」とメッセージを送りました。



児童の感想

- ・自分で考える力がついた！
- ・難しかったけれど、色々な視点から物事を見る力がついたと思う。
- ・「周りの人も巻き込んで課題を解決していくことが大切なんだよ」という言葉が印象に残った。色々な意見を通じて考えるのが大切なんだと思った。
- ・講師に言われた「行動に移さないと皆に伝わらない。自分たちから発信することが大切。」が心に残っている。3学期、絶対に行動するぞ！



教員の声

2020年の新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」をまさに先駆けて勉強できる機会でした。
児童を子ども扱いせず「一人前」として扱い、目線を合わせて対話するようにフィードバックしたり、（大人から見ると小さな）児童の悩みに真剣に向き合ってくれたことは、彼らにとって、とても嬉しいことだったと思います。



講師の声

- ・みらいの社会を支える子ども達に「道を作るのではなく、道の作り方を教えている」ように思った。
- ・子ども達が「理想の学校づくり」に向けて懸命に頑張る姿や素直な気持ち、行動には心動かされるものがあった。
- ・このプログラムは「大人と子どもが『正解』を求めめるのではなく、答えを考えるプログラム」ですね！